

## 在宅介護実態調査について

### 1 在宅介護実態調査の概要

#### (1) 調査目的

「(仮称)青森市高齢者福祉・介護保険事業計画 第7期計画(平成30年度～平成32年度)」の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込み、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料とする。

#### (2) 調査の実施時期

平成28年12月下旬から実施予定

#### (3) 調査対象者

- 在宅の要支援・要介護認定を受けている方のうち、要介護等認定有効期間がH29年2月末及びH29年3月末の更新申請対象者 約1,900名
- ※回答者数は、国が示すサンプル数である600名を確保する

#### (4) 実施方法

- 郵送配布、郵送回収
- 更新申請対象者に対する要介護等認定有効期間の「お知らせ」を送付する際に、調査票及び返信用封筒を同封

#### (5) 在宅介護実態調査の構成

- 調査対象者ご本人様用(A票)及び主な介護者様用(B票)で構成

#### (6) 調査項目

- 国が示す「在宅介護実態調査」の調査項目をそのまま活用する